



鹿児島島の「暮らし文化」を育み、伝える
地域密着型観光複合施設の提案

00 Back ground

鹿児島島の持つ2つの魅力

魅力1 鹿児島島の個性豊かな現代作家たち

鹿児島島には鹿児島島の素材や伝統技法を用いた鹿児島島ならではのクラフト作品を手がける作家が多く存在します。鹿児島島の豊かな土地で作られるクラフト作品はどれも魅力的なものです。また、今年で第12回となるash satsuma design & craftと呼ばれるイベントが鹿児島島にあります。このイベントでは、鹿児島島の様々なショップと作家が提携し、多数のショップが期間限定で作家の作品を展示販売するというものです。このように、鹿児島島には、鹿児島島の土地の豊かさを伝える魅力をもつ、生活に関するクラフト作品が多数存在し、そして、鹿児島島の暮らしに根付いています。

魅力2 鹿児島島のほがらかな人柄

鹿児島島には焼酎文化があります。鹿児島島の代表的な方言で「だれやめ」という言葉があります。これは焼酎を飲む晩酌をさし、暮らしに根付いています。その為、鹿児島島の繁華街は連日賑わいを見せており、お酒の場でのコミュニケーションが他県に比べて盛んです。このように、鹿児島島の人々はお酒を酌み交わしコミュニケーションを図ることを心から楽しめる気質を持ち合わせています。



01 Project Concept

人と人をつなぐ。鹿児島島の文化的発展の拠点作り。

本計画では空き家を「SATSUMA HOUSE」と呼びます。「SATSUMA HOUSE」は「鹿児島島の丁寧な暮らしの一端をほがらかな鹿児島島人を通して、伝えること。」をコンセプトに国内・国外に向けて運営されます。このプロジェクトは、地域の住民・学生・作家の手を借りて、鹿児島島の2つの潜在的な魅力を掛け合わせた空間を作り出していきます。時間をかけてゆっくりと空き家は地域の宝と変化していきます。同時に、関わる人同士を結びつけ、若い人材の成長を促し、これからの鹿児島島の発展の基盤をつくることを目的とします。

First step

事業経営希望者と作家を結びつける。



カフェ
ゲストハウス
雑貨
etc....

事業経営希望者



木工
ガラス工芸
陶器
etc....

作家

人から始まる「SATSUMA HOUSE」プロジェクトの大切な基盤づくり

Second step

空き家を改装。事業経営者と作家に合わせた場の提供。



事業経営希望者 作家



設計 施工 学生

県内の学生が主体となり、教育の一環として設計・施工。空き家の良さを残しつつ、鹿児島島の特徴を表した空間へ。

Third step

複数の「SATSUMA HOUSE」経営者が連携し、地域に根ざしたイベントの企画、情報発信を通して「SATSUMA HOUSE」ネットワークを構成



「SATSUMA HOUSE」

点が繋がり
面を形成

散文的にできる「SATSUMA HOUSE」を繋げ、面的な広がりを獲得すると同時に地域に広く周知させる。学生が介入することにより若い世代の参入を期待。

Fourth step

「SATSUMA HOUSE」ネットワークが構築された頃、宿泊機能を備える。



「SATSUMA HOUSE」は宿泊施設を兼ね備え、全国・海外の旅行者を受け入れる受け皿へ。

地域に根ざし、愛される「SATSUMA HOUSE」は地域住民の文化的発展を促し鹿児島島の魅力を国内外に伝える拠点として、**地域の宝**となる。